

SNSにおけるネットワーク成長に基づく  
ユーザプロファイリング手法に関する研究  
A Study on the SNS User Profiling  
based on Grow of User Network

学籍番号：201521629

氏名：柘植 大

Hiroshi TSUGE

近年、Twitterに代表されるSNSが注目を集めている。2015年12月31日時点でのTwitter月間アクティブユーザ(MAU)数は約3億人と報告されており、ユーザ数は今後増加傾向にあるといえる。しかし一方、近年では実際には活動していない非アクティブユーザが増加傾向にあると報告されている。非アクティブユーザとは、アカウントは存在するが、活動を行っていないユーザを意味し、Twitterユーザの8割近くを占めるとのことである。

以上で述べた投稿活動の停滞や離脱といった現象について、著者はSNS上における他ユーザ間とのコミュニケーションが強く影響していると考えている。ここでいうコミュニケーションとはTwitter上でのReply, Retweetといったアクションを指す。ユーザ間のコミュニケーションが連鎖的に新たなユーザ間コミュニケーションを発生させ、コミュニティの拡大や投稿活動の活性化を誘発していると考えられる。そこで本研究では、SNSにおけるネットワーク成長に基づくユーザの分類方法を提案する。その上でネットワーク成長とユーザの投稿活動の関係性について検証を行い、最終的にはユーザの投稿活動の活性化に有益なユーザの検出・推薦を実現することを目的とする。

提案手法の有効性を評価するために、Twitterユーザの投稿活動を長期的に収集調査し、Replyネットワークの有無が投稿活動に与える影響を考察した。

研究指導教員：佐藤 哲司

副研究指導教員：松林 麻実子